

投稿論文執筆要項

(2012年7月15日改訂)

1. 原稿は、日本語で書かれた未発表のものに限ります（他の雑誌等に投稿中のものは投稿できません）。

2. 要約とキーワード

特集論文・自由投稿論文には和文600字以内及び英文150語以内の要約をつけます。各要約の末尾には、それぞれの言語で3語のキーワードを明記して下さい。

3. 提出原稿の書式と分量

原稿は以下の原則に厳密に従って提出して下さい。

(1) 特集論文・自由投稿論文は、表題・和文要約・キーワード・本文・注・引用文献・図表・英文表題・英文要約・英語キーワードの順序で構成して下さい。

(2) 原稿はA4版の用紙を使用し、横書きにて40字×30行で印字して下さい。表題・注・文献リスト・要約等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで印字して下さい。図表は挿入箇所を原稿中に明記し、刷り上がり1/4ページ大を400字相当として字数換算すること。図表等すべて含めて自由投稿論文は15頁以内でおさめるようにして下さい。

4. 表記法

(1) 句読点は、全角の「。」と全角の「，」を用います。

(2) 英数字は原則として半角文字を使います。

(3) 節、小節には半角文字を用いて、それぞれ「1.」「1.1」のように記入下さい。

(4) 原則として西暦を用います。元号を使用するときには、「昭和29年（1954年）」のように記して下さい。

5. 図表・写真

(1) 図表・写真は本文とは別にA4版で提出し、挿入箇所を本文中に指示してください。

(2) 表の場合は上部中央に、「表1 人口の構成」のように題名を記して下さい。他の文献から引用する場合は、表の下部に「出典：厚生省人口問題研究所『人口統計資料集1998年』」のように、引用した文献を示して下さい。

図の場合は、図の下部中央に、「図1 人口の構成」のように題名を記して下さい。引用する場合は、題名の下部に表の場合と同様に「出典」を示して下さい。

6. 注・引用文献

(1) 注は、本文該当箇所の右肩に通し番号で(1)(2)と記し、本文の最後にまとめて記載します。

(2) 引用文献の参照形式及び文献リストのあげ方は、以下に準拠して下さい。

日本社会学会編集委員会，2009，『社会学評論スタイルガイド』日本社会学会。

URL：http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php

・ 引用文献は、（ ）でくくって、（著者名 原著発表年： 原著引用頁＝邦訳書刊行年： 邦訳書引用頁）の順で記載します。

・ 文献リストは、著者名（アルファベット順），発表年，「論文名」編者名『書名／雑誌名』，出版社名（巻）号：所在頁の順で記載します。

・ 和文文献は、書名・雑誌名を『 』で、論文名を「 」でくくって下さい。欧文書名／雑誌名はイタリック体にして、論文名を“ ”でくくって下さい。

（例示）

① 引用文献は以下のように表示します。

・ リースマンは「もし、他人指向的な人間が権力を求めているのだとすれば、何をかれは求めているのだろうか」（Riesman 1950: 240=1964: 223）と述べている。

② 同一著者の同一年の文献については、（黒岡 1981a: 223）のようにa, b, c, をつけて下さい。

③ 文献リストは以下のように表示します。

文献

Blumer, H., 1971, "Social Problems as Collective Behavior," *Social Problems*, 18: 298-306.

Klandermans, B., 1992, "The Social Construction of Protest and Multiorganizational Fields," A. Morris and C. M. Mueller eds., *Frontiers in Social Movement Theory*, New Heaven: Yale University Press, 77-103.

黒岡千佳子, 1981a, 「わが国における女性高等教育の発展と女性エリート形成」『教育学研究』48(1): 43-53.

———, 1981b, 「わが国における現代女性エリートの意識と実態」『大阪大学教育社会学・教育計画論研究集録』2: 27-61.

Riesman, D., 1950, *The Lonely Crowd*, New Heaven: Yale University Press. (=1964, 加藤秀俊訳『孤独な群集』みすず書房.)

作田啓一, 1996, 『個人』三省堂.

吉川正之, 1980, 「社会生活への評価と展望」NHK放送世論研究所『80年代と日本人——生活意識と社会像』日本放送出版協会, 31-79.

7. 原稿の提出

(1) 原稿は、原則として、ワードプロセッサで印字したものを3部作成し、編集委員会に

提出して下さい。手書きの場合には、事前に編集委員会にご相談下さい。なお、提出する原稿3部のうち、1部にのみ投稿者氏名を印字し、査読用となる2部には英文要旨も含めて氏名を記載しないなど、匿名性の確保に留意して下さい。また、併せて原稿の入ったCD-R 1枚も添付して下さい。

(2) 原稿の掲載が決定した後、ただちに完全原稿をプリントアウトしたものと、使用したワープロのファイルの入ったCD-R等を提出して下さい。また、提出原稿には名前を記入して下さい。

(3) その際、図表の位置、字体など特殊な指示は、原稿データに記入して下さい。また、使用したソフトウェア、外字や特殊機能の有無を通知して下さい。

8. 校正

執筆者による校正は初校のみとします。初校での校正は、原則として誤字・脱字等、誤植の訂正とし、加筆・修正は認められません。長期不在の場合、編集委員会に事前にご連絡下さい。

9. 原稿の提出先と締め切り

(1) 提出先は、下記の通りです。

〒980-8576

仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 社会学研究室

東北社会学会年報編集委員会

締め切りは、12月末日とし、郵送（当日消印有効）のみにて受け付けます。

(2) 掲載原稿及びCD-R等は返却しませんので、必ず控えを取って下さい。